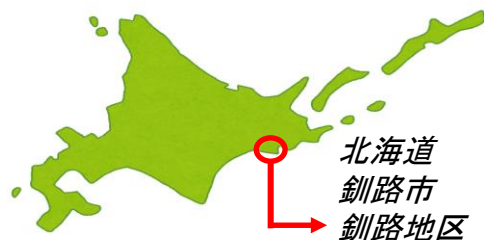


産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(29年度:計画作成主体:釧路市農業農村経営生産推進会議)(北海道)

取組の概要

- 対象品目 : 施設野菜(ほうれんそう)
(産地面積: 5.94ha)
- 主な取組主体: 阿寒野菜組合ホーレン草部会員
- 成果目標 : 10aあたり販売額の10%以上の増加
基準(H28) 1,077千円/10a
目標(R1) 1,212千円/10a
- 導入施設等 : 生産支援事業
(農業機械等のリース導入・
パイプハウス資材導入)



産地体制

地域の関係者(釧路市、阿寒農業協同組合、農業関係者等)が一体となり、事業を推進。

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- 冷涼な気候を生かし、低農薬・減化成肥料栽培を推進

〈道・市町村単独事業〉

- 酪農主体の地域のため堆肥の有効活用を推進
- 都市近郊という地域特性を生かした直売所の経営

ポイント

- ・高性能機械の導入による歩留まり向上
- ・高性能機械や資材の導入による作付期間、作付面積の拡大

取組成果

- リース支援による初期投資の節減効果
- 作付期間の拡大や歩留まりの向上による販売額の増加
- 販売額の増加による生産者の所得向上、経営の安定



**販売額が11%増加
(達成率242%)**

～ほうれんそうの販売額(10aあたり)～

